

教育メディア学会 年次大会発表
 (2012年9月1日 東北学院大学)

「話し合う」情報モラルの授業

The study of the information morality in the lesson which took in talking activities

聖母被昇天学院中学校高等学校
 岡本 弘之

京都教育大学
 浅井 和行

<背景> 高校生のWEB利用実態 (リクルート進学総研 2012.7.3)

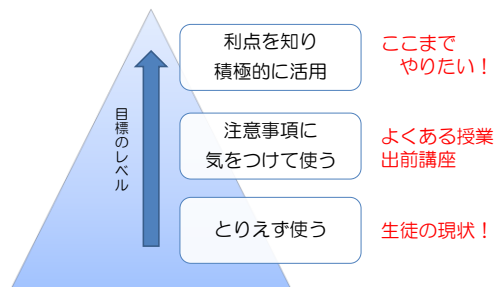
- スマートフォンの普及
 39.2% (2011年比 +24.3%)
- SNS (コミュニティサイト) の利用状況
 77.0% (2011年比 +15.7%)
- 男女の利用比率
 女子の利用81.4% > 男子の利用70.9%
- 利用するコミュニティサイト
 ①Twitter (50.2%) ②mixi (37.9%)

2012年4月調査 対象1239人
<http://soukenshingakunet.com>

1. はじめに

- テーマ (目標)
 - SNSも含めた「情報発信」の注意点・活用を、主体的に考えさせる授業をしたい
- 授業方法の工夫として
 - 経験交流を行いたい
 - 話し合いを活性化するためKJ法やブレインストーミングの手法も取り入れたい
 - 影の部分だけでなく活用まで考えさせたい

・ 今回の情報モラル授業の目標



2. 授業の実践

①知識の整理をする (1時間)

<内容>

- Web・ブログ・SNSについて説明、更新の容易さ、双方向性、公開範囲についてワークシートの表でまとめる
- 人気ブログの分析 (ターゲット・発信内容の工夫)

<知識の整理>
 ・説明を聞きながら、Web・ブログ・SNSの特徴をまとめよう!

	Web	ブログ	SNS
発信の対象	不特定多数		
更新の手間	△ 知識必要		
双方向性	× メールなどによる		
その他特徴			

資料 生徒のワークシート

実際の画面を見せながら・・・

ブログ・SNSの比較

Web SNS ブログ

友達リクエスト

送る

©2011 http://blog.writing-school.jp/

②利点と注意点を整理する (1時間)

- ブログ・SNSでの情報発信について注意点・利点について表と付箋に書かせる
- 自分・周りの経験から+調べたことの両方

2. ブログやSNSといった個人が情報発信できるツールの便利点(メリット)、課題・注意すべき点は何でしょうか。自身の経験周りの経験+調べてください。
手順: ①個人で表と付せんに入力 → ②グループで共有し分類・整理しましょう

	便利点
自分や周りの経験	
調べたこと	

資料 生徒のワークシート

- KJ法を使って意見を共有・整理させる

資料 説明に使ったスライド

いいところ

今何しているかわかる

日記で聞かなくても様子がわかる

友達の様子がわかる

誰でも情報発信

自分の考えを表現できる

自分の実践を共有できる

生徒が作業した画用紙①

ブログやSNSで便利点

自分の意見を発信できる

知り合い探し

友達がわかる

会話できる

便利

ロコミ

メンバー

生徒が作業した画用紙②

ブログやSNSで注意する点

プライバシーの問題

なりすましの問題

生活の乱れ

知識のまとめと考察

<知識の整理>

☆一般的にブログやSNSなど個人の情報発信で気をつけることは？

① (自分・他人の個人情報に注意する) → SNSは公開範囲を制限可能

② (著作権・肖像権に配慮する) → 法律違反は×、損害賠償事例あり

③ (悪口・批判などネガティブ表現に注意) → 見て不快・度を過ぎれば批判にも一さかのぼって見られても大丈夫な情報発信を!

考察 自分のブログ・SNSで情報発信をする際に、どのようなことに気をつけるべきか? 箇条書きで具体的に書いてみよう

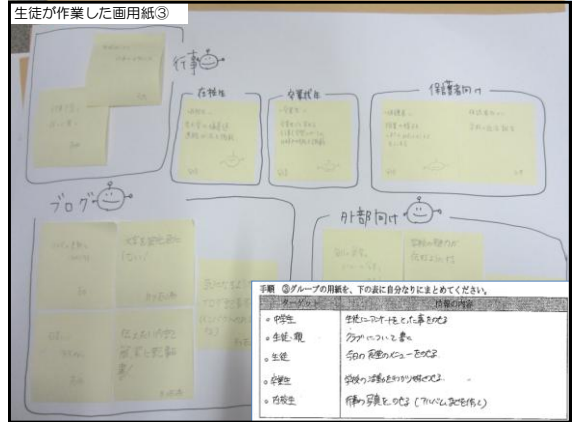
③活用を考える (1時間)

- 学校が公式ブログ・SNSサイトを作った場合、何を発信すればいいか話し合う

話し合いのルール

- ①判断・結論を出さない(結論厳禁)
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は慎む。
- ②粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
ユニークで斬新なアイデアを重視する。
- ③量を重視する(質より量)
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
- ④アイデアを結合し発展させる(結合改善)
別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりする

資料 生徒への提示スライド



3. 結果

①生徒発表「分析：ブログ・SNSの利点・注意点」

いいところ・長所	注意するところ・課題
<ul style="list-style-type: none"> ・個人が情報発信しやすい ・コミュニケーションが豊かになる(交流) ・情報の収集がしやすい ・同じ趣味を持った人とつながりやすい ・情報交換が楽しめる(双方向性) ・いつでもどこでも発信できる ・連絡が取りやすい ・交流が楽しい ・ともだちが増える ・簡単に更新・書き込みができる ・自分が思ったことをすぐ書き込める 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒らす人の被害にあうかも ・個人情報が知られやすい ・ウソの情報も多い ・誰に見られているか分からない ・人間関係が悪くなることもある ・写真付きだと居場所が特定される ・犯罪に巻き込まれる ・登録するときの手間 ・参加する人が困られている ・危険な人からの連絡の可能性も ・依存・疲労の危険性 ・なりすましの問題 ・他人を傷つけてしまうかもしれない
<ul style="list-style-type: none"> ・簡単(いつでも書き込める・更新が楽) ・コミュニケーション(同じ趣味) ・誰でも発信できる ・情報交換できる(双方向) ・SNSは友人のみに情報をできる ・いろいろな情報を得ることができる ・人脈形成に便利 ・国際交流 ・やりとりがスピーディー ・友人とのやり取りが楽しい(様子・レス) 	<ul style="list-style-type: none"> ・うその情報、正しさが分からない ・悪口・中傷 ・依存症になりがち ・著作権の侵害 ・個人情報が漏れる ・批判される危険性・トラブル ・知らない人知り合う危険性 ・誰に見られているか分からない ・知らない人からの申請

②生徒発表「活用：学校ブログ・SNSを作ったら」

ターゲット	記事の内容
在校生	<ul style="list-style-type: none"> ・各大学の偏差値 ・行事の写真 ・受賞した生徒の紹介 ・情報発令時の案内 ・食堂メニュー
卒業生	<ul style="list-style-type: none"> ・来れる行事の紹介 ・学校や生徒が取り組む活動の紹介 ・同窓会のお知らせ
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子・行事の様子 ・修学旅行の速報
受験希望者	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力・教育方針・雰囲気 ・学校の案内・設備の紹介 ・受験へのアドバイス・勉強法・過去問 ・学校クイズを毎日出題 ・音声付学校紹介(動画)
塾向け	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の方針・カリキュラム
一般向け	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の紹介 ・主催のコンクールをつくり宣伝 ・地域向け行事を企画し宣伝

4. 考察とまとめ

①生徒の感想から

- 「SNSの注意事項を初めて見た」
 – 注意事項の調べ方が学べた 話し合いの準備を
させたから
- 「カメラの位置情報に気をつけて」
 – 具体的で新しい注意事項が学べた 経験交流
させたから
- 「注意点を守ればコミュニケーション」
 – マイナス・プラス面のバランスが良かった うまい活用例が
できたから
- 「話し合いは楽しかった・参考になっ」
 – 受け身ではなく主体的に授業に取り組めた 話し合いが
活発に行えたから

5. まとめ

- 「話し合う」情報モラルの授業は
- 「準備→話し合い→発表→教師の解説」の各段階で生徒の学びがあった
 - KJ法・ブレインストーミングといった話し合いの方法を使ったことで、全員が話し合いに参加でき、活発な意見交換ができた
 - 注意点だけでなく、利点を知ったことで、積極的な活用を考えることができ、活用を考えたことで、発信側のねらいを考えた
 - 生徒が主体的に取り組んだことで、自分のブログを見直すなど次の行動につながった